

一般路線バスの上限運賃変更認可申請について

京阪バス株式会社（本社：京都府京都市南区 取締役社長：三浦達也）は8月22日（木）、国土交通省近畿運輸局長に対し、一般路線バス（滋賀・京都・大阪地区）の上限運賃変更認可申請を行いました。申請理由および申請概要は下記のとおりです。

記

1. 申請理由

弊社の路線バス事業の経営環境は厳しさを増しており、背景には、大型二種免許取得者の減少や高齢化などに伴い深刻化する運転士不足から生じる要員確保・労働条件改善のための人件費の増加、燃料費を含む全般的な物価高騰、ＩＣカードなどのシステムの維持・更新コストの増加などが要因としてあげられます。

さらに、少子高齢化による生産年齢人口の減少によりお客様の減少傾向は続き、加えてコロナ禍の影響もあり在宅勤務やオンライン会議などが浸透しており、移動需要が減少し、運送収入がコロナ禍前の水準に回復することは困難であると想定されます。

今後も厳しい経営環境は続きますが、弊社がこれまでに利便性・安全性向上に向けて取り組んでまいりました、ＩＣカードやバスロケーションシステムの導入、ノンステップバスの導入などについて、引き続き改善・導入に取り組んでまいります。そして、公共交通機関として、さらなる利便性・安全性向上に努めるとともに安全快適な輸送サービスを安定的にお客様に提供してまいります。

そのためには、厳しい状況下においても、持続可能な経営環境を整えていくことが必要であり、消費税率引き上げによるものを除き、1997年以来、大部分の区間を据え置いておりました運賃の改定による運送収入の確保は欠かせないものとして、上限運賃変更認可申請に至りました。

ご利用のお客様には、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2. 申請概要

(1) 申請日

2024年8月22日（木）

(2) 運賃改定実施予定日

2024年12月1日（日）

(3) 申請対象路線

一般路線バス 全線

（均一制運賃の区間、自治体のコミュニティバスなどは除く）

(4) 制度の見直し

このたび予定する運賃改定では、制度の簡素化もあわせて行います。

滋賀地区では、特殊区間制の特区を1区に統合し、大阪地区と同様、1区からの制度とします。

京都地区では、特殊区間制の区間について、現行の特区～4区の5区間を、1区・2区の2区間に再編します。

現行制度・運賃との比較表については（５）のとおりです。

この見直しに伴い、地区定期券における地区やご利用いただける範囲の変更、PiTaPa登録型割引における地区プランの再編を予定しております。詳細は認可後、速やかにお知らせいたします。

(5) 現行運賃・上限運賃比較表 (予定)

地区	形態	現行制度・現行運賃		新制度	上限運賃※1	実施運賃※2※3 2024年12月
滋賀	特殊 区間制	特区	230 円	1 区	290 円	250 円
		1 区	250 円			
		2 区	280 円	2 区	320 円	280 円
		3 区	310 円	3 区	350 円	310 円
		4 区	330 円	4 区	370 円	330 円
京都	特殊 区間制	特区・御蔵山地区	210 円	1 区	290 円	230 円
		1 区	220 円			
		2 区(山科・醍醐地域)	250 円			
		2 区(市内中心部)	250 円	2 区	320 円	260 円
		3 区	280 円			
		4 区	300 円			
大阪	特殊 区間制	1 区	230 円	1 区	290 円	250 円
		2 区	260 円	2 区	320 円	280 円
		3 区	290 円	3 区	350 円	310 円
京都・ 大阪	対キロ 区間制	基準賃率	32 円 50 銭	—	50 円 50 銭	+50～100 円※4
		初乗運賃	170 円	—	210 円	170 円

・特殊区間制は、3 区までは 1 区増すごとに 30 円を加算し、4 区以降は 20 円を加算します。

※1 上限運賃とは、路線バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額で、弊社が申請し、認可の対象となるものです。

※2 実施運賃とは、申請した上限運賃の認可が得られたうえで、上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様からいただく運賃額です。

※3 物価変動や収支動向などを勘案し、来年度以降についても実施運賃の改定を予定しております（改定時期など詳細は未定です）。

※4 この例によらず、今回運賃を据え置く路線があります。

《定期旅客運賃の比較表》

※滋賀 1 区～4 区の定期旅客運賃は据え置きます。

地区			通勤			通学		学期別		
			1 か月	3 か月	6 か月	1 か月	3 か月	1 学期	2 学期	3 学期
滋賀 ※	特区	現行	10,350 円	29,500 円	-	8,280 円	23,600 円	-	-	-
	1 区		11,250 円	32,060 円	60,750 円	9,000 円	25,650 円	30,600 円	32,850 円	23,400 円
	1 区に統合	予定	11,250 円	32,060 円	60,750 円	9,000 円	25,650 円	30,600 円	32,850 円	23,400 円
京 都	特区	現行	9,450 円	26,930 円	-	7,560 円	21,550 円	-	-	-
	御蔵山地区		9,450 円	26,930 円	51,030 円	7,560 円	21,550 円	25,700 円	27,600 円	19,660 円
	1 区		9,900 円	28,220 円	53,460 円	7,920 円	22,570 円	26,930 円	28,910 円	20,590 円
	2 区(山科)		11,250 円	32,060 円	60,750 円	9,000 円	25,650 円	30,600 円	32,850 円	23,400 円
	1 区に統合	予定	10,350 円	29,500 円	55,890 円	8,280 円	23,600 円	28,150 円	30,220 円	21,530 円
	2 区(市内)	現行	11,250 円	32,060 円	60,750 円	9,000 円	25,650 円	30,600 円	32,850 円	23,400 円
	3 区		12,600 円	35,910 円	68,040 円	10,080 円	28,730 円	34,270 円	36,790 円	26,210 円
	4 区		12,600 円	35,910 円	68,040 円	10,080 円	28,730 円	34,270 円	36,790 円	26,210 円
	2 区に統合	予定	11,700 円	33,350 円	63,180 円	9,360 円	26,680 円	31,820 円	34,170 円	24,340 円
大 阪	1 区	現行	10,350 円	29,500 円	55,890 円	8,280 円	23,600 円	28,150 円	30,220 円	21,530 円
		予定	11,250 円	32,060 円	60,750 円	9,000 円	25,650 円	30,600 円	32,850 円	23,400 円
	2 区	現行	11,700 円	33,350 円	63,180 円	9,360 円	26,680 円	31,820 円	34,170 円	24,340 円
		予定	12,600 円	35,910 円	68,040 円	10,080 円	28,730 円	34,270 円	36,790 円	26,210 円
	3 区	現行	13,050 円	37,190 円	70,470 円	10,440 円	29,750 円	35,500 円	38,100 円	27,140 円
		予定	13,950 円	39,760 円	75,330 円	11,160 円	31,810 円	37,940 円	40,740 円	29,020 円

《滋賀地区の主な区間における運賃の比較表》

区 間	大人片道運賃		通勤定期券 (1 か月)		通学定期券 (1 か月)	
	現行	実施 予定	現行	実施 予定	現行	実施 予定
石山駅 ～ 石山寺山門前、晴嵐小学校前	230 円	250 円	10,350 円	11,250 円	8,280 円	9,000 円
大津京駅 ～ 三井寺、近江神宮前	230 円	250 円	10,350 円	11,250 円	8,280 円	9,000 円

・その他の区間運賃については、認可後、速やかにお知らせいたします。

《京都地区の主な区間における運賃の比較表》

区 間	大人片道運賃		通勤定期券 (1 か月)		通学定期券 (1 か月)	
	現行	実施 予定	現行	実施 予定	現行	実施 予定
山科駅 ～ 柳辻駅、国道大塚	210 円	230 円	9,450 円	10,350 円	7,560 円	8,280 円
京阪六地蔵 ～ 合場川、東御蔵山	210 円	230 円	9,450 円	10,350 円	7,560 円	8,280 円
山科駅 ～ 京阪六地蔵、京都橘大学	220 円	230 円	9,900 円	10,350 円	7,920 円	8,280 円
醍醐バスターミナル ～ 清閑寺山ノ内町	250 円	230 円	11,250 円	10,350 円	9,000 円	8,280 円
大宅 ～ 四条烏丸、京都駅八条口	250 円	260 円	11,250 円	11,700 円	9,000 円	9,360 円
醍醐バスターミナル ～ 四条烏丸、京都駅八条口	280 円	260 円	12,600 円	11,700 円	10,080 円	9,360 円
醍醐バスターミナル ～ 四条大宮	300 円	260 円	12,600 円	11,700 円	10,080 円	9,360 円

・その他の区間運賃については、認可後、速やかにお知らせいたします。

《大阪地区の主な区間における運賃の比較表》

区 間	大人片道運賃		通勤定期券 (1 か月)		通学定期券 (1 か月)	
	現行	実施 予定	現行	実施 予定	現行	実施 予定
枚方市駅北口 ～ 長尾駅	230 円	250 円	10,350 円	11,250 円	8,280 円	9,000 円
寝屋川市駅 ～ 摂南大学、大久保	230 円	250 円	10,350 円	11,250 円	8,280 円	9,000 円
枚方市駅北口 ～ JR 高槻	260 円	280 円	11,700 円	12,600 円	9,360 円	10,080 円
寝屋川市駅 ～ 大日駅、JR 茨木東口	260 円	280 円	11,700 円	12,600 円	9,360 円	10,080 円
樟葉駅 ～ 近鉄新田辺	290 円	310 円	13,050 円	13,950 円	10,440 円	11,160 円

・その他の区間運賃については、認可後、速やかにお知らせいたします。

《対キロ区間制の主な区間における運賃の比較表》

区 間	大人片道運賃		通勤定期券 (1 か月)		通学定期券 (1 か月)	
	現行	実施 予定	現行	実施 予定	現行	実施 予定
松井山手駅、高速京田辺 ～ 京都駅八条口	600 円	700 円	定期券の設定はありません			
京阪交野市駅 ～ 京都駅八条口	700 円	800 円	定期券の設定はありません			

・その他の区間運賃については、認可後、速やかにお知らせいたします。

《ポイントサービスについて》

・ポイント還元率 5%について、据え置きます。

《PiTaPa 登録型割引について》

地区	地区プラン・ワイドプラン	上限額（大人1か月）	
		現行	実施予定
京滋	大津北地区、大津南地区、石山地区 南郷地区、大石ゾーンバス地区	10,300 円	10,300 円
	京都市内地区	9,400 円	9,400 円
	（廃止）山科地区、醍醐地区	9,400 円	廃止
	（新設）山科醍醐地区		
	京滋ワイドプラン		
大阪	樟葉地区、出屋敷招提地区、津田磐船地区、 香里交野地区、枚方大橋地区、高槻茨木地区、 星田地区、寝屋川地区、守口門真地区、 四條畷地区、長尾穂谷地区、松井山手地区、 京田辺大住地区、八幡地区	9,400 円	10,300 円
	（廃止）ひらかたミニ	7,600 円	廃止
	大阪ワイドプラン	11,800 円	12,600 円
	スーパーワイドプラン	21,000 円	24,500 円

・プランの新設・廃止についての詳細は、改めてお知らせいたします。

《IC1day チケットについて》

発売額	現行	実施予定
	650 円	750 円

・このたびの運賃改定では、ご利用いただける区間等の変更はございません。

（６）運賃の割引について

このたび予定する運賃改定に合わせ、現在は一部路線に限り導入している、精神障害者保健福祉手帳またはミライロ ID（スマートフォン障害者手帳アプリ）をご呈示いただいたお客様を対象とした精神障害者割引（普通旅客運賃を 5 割引、定期旅客運賃(大人)を 3 割引）を一般路線バス全線に導入することを予定しております。

（７）上限運賃の平均改定率 滋賀地区：16.17%
京都地区：26.15%
大阪地区：26.65%

（８）実施運賃の平均改定率 滋賀地区： 0.50%
京都地区： 3.02%
大阪地区： 8.31%

3. これまでの経営改善と今後の取り組み

これまで、利用状況に応じた運行ダイヤの見直し、管理コスト削減のための営業所の統合、車両更新時期の延長による償却費の削減、エコドライブの推進による燃料費の削減など、経営改善に努めてまいりました。

また、深刻な運転士不足の改善に向けて、賃金・初任給の引き上げや大型二種免許未取得の方への取得費用の支援など、在籍運転士の待遇向上ならびに新規採用の強化を図っております。

今後も、上記施策にとどまらず、柔軟に経営改善に取り組んでまいります。

4. 安全への取り組み

弊社では、「安全・人命の最優先」を掲げる安全方針のもと、人身事故撲滅や救護最優先の意識の浸透を図り、輸送の安全に取り組み、事故防止に努めております。

設備面では、EDSS（ドライバー異常時対応システム）を搭載した車両の導入や、死角やオーバーハングなどの確認を行えるよう、各営業所車庫内に「安全確認エリア」を設置しております。

運転士に対しては、ドライブレコーダーを活用したフォローアップの実施、睡眠時無呼吸症候群（SAS）のスクリーニング検査を実施しており、安全意識の向上・健康管理の両面において取り組んでおります。

今後は、安全運転訓練車の導入なども検討し、引き続き安全への積極的な取り組みを進めてまいります。

5. サービス向上の取り組み

ノンステップバスの導入、ICカードの導入、バスロケーションシステムによるリアルタイムな運行情報の提供および主要な起点停留所にて行先表示器への発車時刻の掲出、視認性に優れた白色 LED への変更など、ご利用いただきやすい車両や設備となるよう継続的な改善を行っております。

また、脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、2021 年より電気バスを導入しておりますが、引き続き導入を進め、保有台数を拡大してまいります。

他方では、接遇レベル向上にも取り組んでおり、総合的に接客に優れた運転士を「グッド・ドライバー」として毎月表彰し、お客様からお褒めの言葉をいただいた社員についても「サンクス表彰」を実施し、毎月表彰しております。

今後は、IC 定期券の導入などを検討し、一層のサービス向上に努めてまいります。

以 上